

家畜飼育

使用教科書 畜産(農文協 農業028)	単位数 4	学年・学級・学科・選択名等 3年(アグリビジネス科)
------------------------	----------	-------------------------------

1 学習の到達目標

学習の到達目標	家畜の飼育と畜産経営に必要な知識と技術を習得し、家畜の特性や飼育環境を理解するとともに、合理的な家畜生産と品質や生産性の向上を図る能力と態度を身に付ける。
---------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
前期	4	オリエンテーション	1	・本科目での学習内容の説明、授業の進め方、受講する上での注意事項などを理解する。	○				取り組みの姿勢	
		座学 ・泌乳の生理 ・搾乳	2 4	・乳房と泌乳のしくみを理解する。 ・ホルモンのはたらきと搾乳の方法を理解する。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート	
		実習 ・ミルカ点検 ・搾乳の方法 ・飼料の給与	2 2 2	・ミルカの構造、処理室のはたらき等を理解する。 ・搾乳の手順と留意事項を理解する。 ・飼料の種類と特性、給与方法について理解を深める。	○		○	○	取り組みの姿勢 記録簿	
	5	座学 ・飼育管理の基本 ・乳期別の飼育 ・泌乳牛の飼料設計	2 2 4	・飼育管理の基本事項と意義について理解を深める。 ・乾乳期～泌乳最盛期の飼育方法を理解する。 ・飼料設計の計算を行う。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート 小テスト	
		実習 ・採草地の管理 ・放牧地の管理 ・乳牛の個体洗浄①	2 2 2	・春の採草地の管理の意義を理解する。 ・春の放牧地の管理の意義を理解する。 ・乳牛の個体洗浄の方法を学ぶ。	○		○	○	取り組みの姿勢 記録簿	
		座学 ・乳質の改善	2	・乳質改善の基本的な考え方を学ぶ。	○	○		○	取り組みの姿勢	
	6	前期中間考査							○	試験とノート提出
		座学 ・子牛の管理	2	・早期離乳法の理論と実際を理解する。	○		○	○	取り組みの姿勢	
		実習 ・乳牛の毛刈り① ・家畜審査① ・環境整備①	2 2 2	・乳牛の毛刈りの方法を学ぶ。 ・乳牛のジャッジングについて理解する。 ・草類の刈り方について理解を深める。	○	○		○	取り組みの姿勢 記録簿	
		演習 ・校内鑑定競技対策	4	・校内鑑定競技大会への学習を通じて、農業クラブへの興味・関心を高める。	○			○	取り組みの姿勢 小テスト	
		座学 ・育成牛の管理	2	・飼料の種類と給与方法について理解を深める。	○	○		○	取り組みの姿勢	
		実習 ・乳牛の個体洗浄② ・乳牛の毛刈り② ・家畜審査② ・環境整備②	2 2 2 2	・乳牛の個体洗浄の方法を学ぶ。 ・乳牛の毛刈りの方法を学ぶ。 ・乳牛のジャッジングについて理解する。 ・牧場の景観や環境整備の意義について考える。	○		○	○	取り組みの姿勢 記録簿	
	8	座学 ・乳牛の健康と疾病	4	・健康維持と疾病予防の基本について理解を深める。	○	○		○	取り組みの姿勢	
		実習 ・乾草庫の清掃 ・敷料の収納 ・乾草の収納	2 4 4	・コンパクト乾草の収納の準備を行う。 ・敷料の収納方法を理解する。 ・コンパクト乾草の収納と貯蔵方法を学ぶ。	○		○	○	取り組みの姿勢 記録簿	
	9	座学 ・主な疾病と対策	4	・乳牛の主な疾病と予防法について理解を深める。	○	○		○	取り組みの姿勢	
		前期期末考査							○	試験とノート提出
		実習 ・体温測定 ・サイレージ貯蔵の準備 ・サイレージの貯蔵 ・体格測定	2 2 4 2	・乳牛の体温測定の方法を学ぶ。 ・サイロ内の清掃とサイロバック等の準備を行う。 ・サイレージの貯蔵方法について理解を深める。 ・乳牛の体格測定の方法を学ぶ。	○		○	○	取り組みの姿勢 記録簿	
	10	座学 ・酪農経営とその改善 ・肉牛の特徴と一生 ・肉牛経営とその改善	4 4 4	・経営形態と各種の経営指標を理解する。 ・肉牛の基礎的な知識と技術について理解を深める。 ・経営形態と各種の経営指標を理解する。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート 小テスト	
		実習 ・乾草移動	4	・コンパクト乾草の積み方を学ぶ。	○		○	○	取り組みの姿勢	

後期	11	座学	・豚の体の特徴と習性	4	・各部の位置と名称、土浴・水浴等の行動を理解する。	○	○	○	取り組みの姿勢	
		実習	・除角	4	・除角の方法を学ぶ	○	○	○	取り組みの姿勢	
	後 期 中 間 考 査							○	試験とノート提出	
	12	座学	・農業技術検定対策 (2～3級程度)	4	・授業で学んだことをもとに、実際の模擬問題を解き、自分の理解度を知る。	○			○	模擬問題
		座学	・農業技術検定対策 (2～3級程度)	4	・授業で学んだことをもとに、実際の模擬問題を解き、自分の理解度を知る。	○			○	模擬問題
			・豚の一生 ・豚の起源と養豚 ・豚の品種と改良	2 2 2	・発育と繁殖の特徴について理解を深める。 ・豚の起源と日本養豚のあゆみを理解する。 ・豚の品種と改良方法について理解を深める。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート 小テスト
	1	座学	・これからの家畜飼育と畜産経営	2	・これからの家畜飼育、畜産業の将来と展望について考察する。	○	○		○	取り組みの姿勢 レポート
学 年 末 考 査							○	試験とノート提出		

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技 能	④知識・理解
内 容	我が国の家畜の飼育と畜産経営について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組んでいる。	家畜の飼育に関する課題の解決を目指して考え、適切に判断し、自分の考えを表現する能力を身に付けている。	家畜の飼育に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できる。	家畜の飼育の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家畜飼育の意義や役割を理解している。
割 合	20% (点)	10% (点)	10% (点)	60% (点)

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 家畜飼育は、2、3学年の2年間継続の授業となります。
- (2) 座学と実習を平行して行います。
- (3) 乳牛の飼育状況によって、授業の順序や進度に変更が生じる場合があります。
- (4) 実習に際しては、学校指定の実習服・帽子・長靴を正しく着用して臨むこと。
- (5) 実習は危険を伴う作業をすることもあるため、指示を良く聞き、指示に従い、まじめに取り組むこと。
- (6) 座学に際しては、教科書・ファイルを毎時間持参すること。

※ 以上の点を守れない場合には未履修になる可能性があるため、注意すること。

評価について

評価	評価点
10	100 ～ 93
9	92 ～ 85
8	84 ～ 77
7	76 ～ 70
6	69 ～ 61
5	60 ～ 53
4	52 ～ 45
3	44 ～ 38
2	37 ～ 30
1	29 ～ 0

学年末評定について

評定	評価点
5	100 ～ 85
4	84 ～ 70
3	69 ～ 45
2	44 ～ 30
1	29 ～ 0